

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【公開番号】特開 2015-143932 (P2015-143932A)

【公開日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2015-050

【出願番号】特願 2014-17061 (P2014-17061)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

G 0 7 G 1/12 (2006.01)

【F I】

G 0 6 Q 30/02 1 0 0

G 0 7 G 1/12 3 6 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 21 日 (2016.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の対象のそれぞれに関する属性情報を記憶する属性情報記憶部と、

対象に関して予め定められた複数のステータスの中で、前記複数の対象それぞれが属するステータスを、各対象の属性情報に応じて判定する判定部と、

複数の状態位置に、前記複数のステータスを示す複数のシンボルを配置し、異なる状態位置のシンボルを線で結んだグラフであって、ある状態位置におけるあるステータスに属する対象数に応じてそのシンボルの態様を調整し、かつ、シンボル間を移動した対象数に応じて線の態様を調整したグラフを表示させるグラフ表示部と、

を備えることを特徴とする情報分析システム。

【請求項 2】

前記複数の対象のそれぞれに関する属性情報は、前記複数の対象のそれぞれによる所定の物事の実績を示す情報であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報分析システム。

【請求項 3】

前記グラフ表示部は、前記グラフにおける 1 つのシンボルをユーザが選択した場合に、選択されたシンボルが示すステータスに属する対象を母集団として、前記複数のシンボルの態様、および、シンボル間を結ぶ線の態様を再調整したグラフを表示させることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報分析システム。

【請求項 4】

ユーザにより選択された前記グラフにおける特定のシンボル間の移動について、その移動を行った対象に関する情報を一覧表示するリスト表示部をさらに備えることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の情報分析システム。

【請求項 5】

ユーザにより選択された前記グラフにおける特定のシンボル間の移動について、その移動を行った対象に関する、前記特定のシンボル間で示される状態における属性情報の内訳を表示する属性情報の内訳表示部をさらに備えることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の情報分析システム。

【請求項 6】

複数の対象それぞれに対して実施されたアクションを記憶するアクション記憶部と、ユーザにより選択された前記グラフにおける特定のシンボル間の移動について、その移動を行った対象に対して、前記特定のシンボル間で示される状態において実施されたアクションの内訳を表示するアクション内訳表示部をさらに備えることを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の情報分析システム。

【請求項7】

対象に関して予め定められた複数のステータスの中で、複数の対象それぞれが属するステータスを、所定の記憶装置に記憶された各対象に関する属性情報に応じて判定する機能と、

複数の状態位置に、前記複数のステータスを示す複数のシンボルを配置し、異なる状態位置のシンボルを線で結んだグラフであって、ある状態位置におけるあるステータスに属する対象数に応じてそのシンボルの態様を調整し、かつ、シンボル間を移動した対象数に応じて線の態様を調整したグラフを表示させる機能と、

をコンピュータに実現させるためのコンピュータプログラム。